

鏡野中学校卒業式

希望を胸に

92名がそれぞれの道へ



3月10日(日)、鏡野中学校で第3回卒業証書授与式が挙行政され、92名が卒業証書を受け取りました。

今年卒業された生徒は、鏡野中学校が鏡野・奥津・上齋原・富中学校の統合を経て新しい鏡野中学校としてスタートした最初の入学生です。学校長式辞では、三村公一校長から卒業生に向けて「自他を大切にする心を持ち続けるということ、感謝する気持ちを持ち続けることを大事にし、大きく羽ばたいていくことを切に願います。」とはなむけの言葉が贈られました。

在校生代表の難波勇太さんは「新しい鏡野中学校とともに3年間を過ごしてこられた先輩方の思いを受け継ぎ、更なる発展を目標に努力していくことを約束します。」と送辞の言葉を送りました。

卒業生の羽生彩乃さんは答辞で、3年間の思い出に触れながら先生や後輩、保護者や地域の方へ感謝の気持ちを伝え「鏡野中学校で学んだことを誇りに思い、仲間との絆を胸に、自分の手で輝かしい未来を切り開いていきます。」と誓いました。

式後の3年生の教室では最後の学活が行われ、卒業生はたくさんさんの思い出をかみしめながらクラスとしての最後のひとときを過ごしました。最後の学活の後には中学校講堂前に在校生や先生方が花道を作り、卒業生を祝福し、笑顔で送り出しました。

